

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	・パーティションで仕切って個別対応のスペースを確保している	・少人数での活動時には狭さを感じることもあるので、利用人数とスペースの確保を工夫していく必要がある
	②	職員の配置数は適切である	4		・児童指導員 3 名常勤	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		・利用者さんにわかりやすいように色付きテープで示している（靴を脱ぐところ、入ってはいけないところ等）	・受け入れ対象外のため今のところはバリアフリーの構造にはなっていないが、ユニバーサルデザインであるべきだと思う
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		・毎日の清掃を必ず行っている	・スペースに合わせた支援を提供している
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		・担当の利用者さんだけではなく職員全員で話す場を持っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		・アンケートを実施し、結果を教室に掲示している	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		・公表している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・第三者による外部評価は必要だと思う
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・毎月の事例検討会の他市の研修会にもすすんで参加している	・引き続き、積極的に研修に参加していく
適切な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		・統一したアセスメントシートを用い定期的にアセスメントしている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		同上	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		・アセスメントをもとに優先順位をつけ、長期目標と短期目標を設定し、個別支援計画に策定している	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		・保護者さんとモニタリングをし、定期的に支援計画を見直している	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・個別対応なので主には担当の支援員が立案しているが、話し合いの場を設け全職員で利用者さん一人ひとりについて意見できる体制をとっている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・個々のアセスメントやその日の利用者の状況に応じ活動内容を設定している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		・基本的には個別での支援を行っているが、状況に応じ、2～3人の小集団での活動を取り入れている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・毎日、朝の会でその日の利用者さんの情報共有を心がけている	・その日の利用者さんの支援内容予定、状況なども詳しく共有できる時間を持つようにしていく
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4		・個別支援なので、支援終了時に全員での振り返りは難しいが、次の日の朝の会で振り返りや共有すべきことを話す時間を持つようにしていく
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・毎回指導記録を取り、見直しをすることでよりよい支援に繋げている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		保護者さんとのモニタリング、職員間でのケース会議を実施している	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		・主に児童発達管理責任者が出席している	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		・保護者さんの同意を頂いたうえで連携をとっている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)					

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		・個々の必要に応じ幼稚園や小学校等へ引き継ぎや連携を図っている また定期的な情報共有もしている
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		同上
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		・研修の機会があれば必ず参加している
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	・普段、保育園・幼稚園交流を持っているので、ここでは機会をもっていない

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4		・主に児童発達管理責任者が出席し、研修には全職員が参加している	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・児発管は保護者さんの話をいつでもきける状態であり、支援後は毎回担当支援員が保護者さんと話す場を持ち、お子さんの様子や支援のねらい等について共通理解を持てるようにしている	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		4		・保護者さんとお子さんについて話すことは常に心掛けており、困りごと等には適切な助言ができるようにしているが、ペアレントトレーニングの情報提供としては不十分だと思う
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・契約時に説明している	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		・相談支援事業所の利用計画をもとに個別支援計画を立て、保護者さんへ説明し、署名と捺印を頂いている	
③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・個別支援計画の見直し時期や、保護者さんの困り感があるとき、随時児発管が対応している		
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	・利用時間の重なる保護者さん同士の繋がりが持てるように心がけている	・基本的には個別対応での支援中心ではあるが、イベント時に保護者同士の関わり	

					や、保護者さんだけの会を持てる機会を作ることも必要
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・苦情受付体制を整えている	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・ブログやインスタ等で活動等を発信している	・より一層のアドレス等の周知の必要がある
	個人情報の取扱いに十分注意している	4		・契約時に個人情報の取り扱いについての説明をし、書面で署名を頂いている。全職員が十分注意を払っている	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・地域の方を招待できるスペースや職員数に満たないので、こちらからの招待は難しいが、地域のイベント等で参加させていただけるものがあるならば参加したい
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		・各種マニュアルを策定し、感染症予防や緊急時の避難場所などを教室内に掲示している	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		・毎月1回の避難訓練を利用者さんと一緒に欠かさずに行っている（地震・火災・水害・不審者、等）	・利用者さんと一緒に毎月各訓練を実施しているが、偏りがないよう出来るだけ多くの利用者さんと避難訓練をできるような配慮が必要
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・契約時に細かな聞き取りをしている	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		・全ての利用者さんについてアレルギーの有無を確認し、イベント時などで飲食するものに関しては厳重に配慮している	
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・ヒヤリハットの事例が起こった場合は報告書を作成し保管している。起こった事例に関し全職員で話し合い、今後の対策をすぐに講じるようにしている	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・機会があれば全職員が研修を受けられるようにすすんで参加していく、
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		4		・現在の時点で対象児はいないが、そのような場合には保護者さんに身体拘束について説明し、個別支援計画に記入する

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校 保護者等数（児童数）13 名 回収数 6 名 割合 46 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	2			・少し狭いが工夫している ・体を動かすときには少し狭い ・広すぎておちつかないのちょうどよい	・限られたスペースで今後も使用の方の工夫をする必要があるとおもいます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1			・トイレも心地よく過ごしやすい	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1		1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		2	1		・保育園や幼稚園等で日々交流されているのでここでは機会をもちません
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4		1	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	2			・個別支援を中心に行っていますが、イベント時などで保護者さん同士の交流や繋がりができるようと思っています
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					・困った事や疑問相談なども丁寧に対応してもらっている
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					・子どもの様子について聞いたり伝えたりすることに親身になってこたえてもらっているので嬉しい
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5			1		・ブログやインスタでイベントのお知らせや報告をしています
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6					・毎月毎に想定を変え（地震・火災・不審者・水害等）避難訓練を実施しています
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6					・「今日はきりり？」と楽しみにしている ・とても楽しく通っている ・行きも帰りもとても楽しそうにしている
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6					・満足している

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。